

第8回大月市教育委員会定例会 会議録

- ・ 開催日時 令和5年10月26日（木曜日）
午後1時30分から午後2時45分
- ・ 開催場所 市役所第2庁舎3階会議室
- ・ 出席委員 宇野誠教育長、鈴木英夫教育長職務代理者、野尻正人委員
白須康子委員、山崎亜由子委員、矢光重敏委員
- ・ 出席職員 卯月教育次長兼学校教育課長、山口社会教育課長
和智こどもの学び支援担当リーダー
藤本学校づくり担当リーダー
岸野スポーツ振興担当リーダー、柴田社会教育担当
- ・ 傍聴人 な し

〔会 議〕

1 開会

【教育長開会宣言】

2 会議録の承認

職員が、令和5年度第7回教育委員会定例会会議録を朗読し承認された。

3 教育委員会報告

教育長から、令和5年9月28日から令和5年10月26日までの教育委員会活動が報告された。

4 議事

議案第16号 代替教員内申について

（非公開）

〔説明〕和智こどもの学び支援担当リーダー

【原案どおり決定】

議案第17号 就学指定学校変更・区域外就学について

（非公開）

〔説明〕和智こどもの学び支援担当リーダー

【原案どおり決定】

議案第18号 令和4年度大月市教育委員会の教育行政点検・評価について

〔説明〕藤本学校づくり担当リーダー

この点検・評価は、前回の教育委員会において意見等をいただきましたので、改めて資料に反映したものを今回お配りいたしました。修正した部分のみカラーで印刷してありますので、順に説明いたします。

1から6ページは、修正はありませんでした。

7ページ、6行目「訪問している」を「配置している」に変更、2行下で「配置及び勤務時間の拡大」を「配置の継続及び勤務時間のさらなる拡大」に変更、真ん中付近で「令和4年度より」を「令和4年度に」に変更しました。

10ページ、真ん中より下「9か月児健診時に絵本を開く楽しい体験をプレゼントし」を「9か月児健診時に絵本をそれぞれ2冊ずつプレゼントし」に変更。下から3行目「子ども」を漢字の「子供」に変更しました。

11ページ、下から3行目「おこなった」を漢字の「行った」に変更しました。

12ページ、5行目「活用を図るため」を「活用を促すため」に変更、2行下「申請を受け」を「要請を受け」に変更。次の行「出前講座を対応」を「出前講座を実施」に変更。「大月市歴史文化の発信をした」を「大月市の歴史や文化に関する情報発信を行った」に変更し、その次の行は、「令和4年度は申請がなかったものの、図書館においても申請に応じ、読み聞かせ等の出前講座を実施している。」を、「図書館においても要請があれば、読み聞かせ等の出前講座を行う体制が整っているが令和4年度は申請がなかった。」に変更しました。次に下から10行目「給水管の漏水による修繕」を「給水管の漏水を修繕」に変更。次の行「ライトポールを」を「ライトポールに」に変更、下から5行目「サブアリーナ網戸交換修繕及び錠前修繕、非常用発電機用蓄電池取替修繕等」を「サブアリーナの網戸交換修繕及び錠前修繕、非常用発電機の蓄電池取替修繕等」に変更しました。

13ページ、下から3行目「学校行事」を「交流行事」に変更、最後の行「知見を広げる」を「知見を広める」に変更しました。

14ページ、上の枠の下から2行目「使用する紙などのコスト削減」を「印刷や配布にかかる時間やコストの削減」に変更しました。

15ページ、上の枠の真ん中付近「おこなっている」を漢字の「行っている」に変更しました。

最後に16ページ下の枠2行目「適正な就学を支援していく」を「適正な就学を支援している」に修正しました。

以上が、前回頂きました意見等を反映した修正版となります。

なお、今後につきましては、本日の内容確定によって、11月21日（火）に開催されます「議員定例懇談会」に報告いたします。

説明は以上となります。

卯月教育次長

前回、国際交流のところでご質問のありましたハービー・ベイ市との姉妹都市提携の件ですが、担当である秘書広報課に確認しましたのでお伝えします。

オーストラリアのハービー・ベイ市と姉妹提携を結んだのが平成6年になります。その時は人材交流を行っており、教育委員会ではAETに来ていただいていたのですが、平成16年以降はグリーティングカードの交換のみとなり、平成20年に先方の合併でハービー・ベイ市がなくなり交流が途絶えてしまったようです。合併でフ

レイザーコースト市になり、当然引継ぎもあったと思うのですが、今は休眠状態でグリーティングカードの交換もしていないようです。

白須委員

このまま終わらせてしまうのはもったいない気がするので、できれば英語教育のために、なんとか合併先のレイザーコースト市と交流ができるようにしていただけると有難いです。

卯月教育次長

15年経っているので、レイザーコースト市と提携するのか新しいところを探すのか、なかなか難しいと思いますが、部長会議の中ででも話してみたいと思います。ただ、AETの関係でいうと今は委託していますが、委託になった経緯の中には、個人的に依頼するのでなり手がいないとか、どうしても訛りが強いとかということも当時の教育委員会から出た件もありますので、AET、ALT関係なく話してみます。

【原案どおり決定】

議案第19号 全国学力学習状況調査結果の公表について

〔説明〕卯月教育次長

前回、大月市内の小中学校の状況について（案）ということで資料をお示しさせていただき、ご覧いただいていると思いますが、ご意見ご質問等あれば本日いただいて、承認をいただいた後、市のホームページにより公表したいと考えていますので、よろしくをお願いします。

鈴木教育長職務代理者

昨年度は、小学校の国語で漢字が書けないというような傾向にありましたが、今回はそのあたりが向上したようで良かったと思っています。

それから、これはここで言うてどうこうなる問題ではないのですが、質問紙と評価の平均点等のクロス集計というものがあって、それを見ないとこの調査結果が活かしきれないのではないかと思います。例えば、昨年はスマホですとかテレビゲーム、SNSとか、そういうものを使っている時間の調査があって、それをどのくらい使っている子がどのくらいの点をとっているのか、そういう全国集計があるわけですから、そういったものを現場でも活かしていかなければいけないし、もちろん活かしていないとは言いませんが、私たちもそういうことを承知しておきながら、学校との懇談に臨む必要があるのかなと思っています。

今、教科の平均点とスマホ等の利用時間の話をしましたが、今年の調査にはそれが入っていないようです。文科省には文科省の考えがあり質問紙は毎年変わると思いますが、子どもたちの学力と学習状況という調査ですから、どういうことを調べてほしいのか、スマホに関しては切実な問題でありますから、そういうところの調査も気を付けていかなければいけないのではないかと思います。

また、今年度のものでいきますと、例えば、新聞を読んでいる子どもは学力が高いということがあったり、大月市でも進んでいますICTの関係などもやはり子どもたち自身も利用する価値があると感じていたりするわけですが、例えばICT機

器をどの程度利用しているかというところをまた見ていくと、何時間も使っている子どもの割合は低いけれど平均点も低い傾向にあったり、使っていないとか30分未満とかその程度の使い方をしている子どもの方が、平均点が高かったりするとか、そういう面白いところがありますから、今後ますますICT教育が進められていくわけですが、そういうところもちょっと考えていかなければいけないのかなと感じたところです。

白須委員

私は、中学校の英語に関すること、また読書・新聞に関することの2点について、ちょっと気が付いたことがありましたので言わせていただきます。

まず5ページ目の中学校英語のところで、ちょっとおもしろいなあと思ったのは、そのページの下から2行目のところ、白丸がついている「社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができる。」ですが、これは白丸なので平均正答率が高いということで、答えを書いた生徒が合っていた確率が高かったということだと思います。それが裏の6ページ目を見ると、これも下から2行目のところになりますが、無回答率が高かったものとして「中学校英語では「社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書く」問題」とこの項目が挙げられているので、これは書かなかった生徒が多いけれど書いた生徒に関しては正答率が高かったということではないかというふうに思いました。

また、同じく6ページの上の方の黒丸がついているところが5つありますが、この5つは正答率が低かった、もうちょっと頑張らなきゃいけないというポイントで、5つのうちの4つがリスニングとスピーキングに関するいわゆるコミュニケーション能力というものに関するもので、あと1つのポイントがリーディング、読む力ということになるかと思えます。

そして、ここでは日常的なトピックと社会的なトピックというふうに2つに分かれていて、社会的なトピックの要点を読み取るリーディングの力というのがちょっと足りないということになっているので、授業の指導改善のポイントとして、その下のところに「聞き取る指導の充実」、「生徒自身の考えを述べる指導の充実」というふうに書かれていて、そこには細かいことも書かれているのですが、私は音読こそが重要なポイントになると思っています。

私も大学生に英語を教えるという体験をしていて、この音読、英語を声に出して読むという音読の力というのが、その学生に英語力があるかどうかということを見極める一つの非常に重要なポイントになっているので、学生に初見で英語を読ませてみて、すらすら読めるかどうか、スピードもそうですし、しっかりこの意味の区切れのところでポーズをおいて読むかどうか、それによってちゃんと内容を理解して読んでいるかどうかというのが、英語を読ませてみると非常によくわかります。やはりレベルの高いクラスと低いクラスだと如実にこのリーディングスピードに差がありますし、読み方の息のポーズの取り方だとかそういうところに差があるなということもいつも感じているので、この音読、声に出して英語を読むということを英語の授業の中に取り入れていくといいのではないかと思います。このリーディングの力というのはすべてのもとになるもので、リスニングで聞き取れる英語のスピードとそれから自分の音読スピードというのは関連しています。聞き取りが難しい、速すぎるということを学生たちもよく言うのですが、それはどういうスピードの英語だったら聞き取ることができるのかということ、自分の音読スピードと同じ速さの

ものであれば聞き取ることができて、自分の音読スピードよりも速いスピードで話されるとわからなくなってしまう。そういう関係があるので、速い英語を聞き取りたいと思ったら、自分の音読スピードをアップさせるしか方法はないと思います。ですので、リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング、この4つの技能というのは独立している訳ではなくて、すべて有機的につながっているので、リスニングが弱いからといって、そのリスニングだけ鍛えればよくなるかということではなくて、やはりリスニングを上げるのには、たくさんものを読んでインプットしていかなければいけないし、そのインプットがしてあれば、リスニングの力が上がって内容がわかる、内容がわかればそれを書いたり話したりすることができるというふうに応用されていくので、英語の授業の中にリーディングの力を伸ばすようなものを入れていってくださると、英語の力がもうちょっとついてくるかもしれないなあという感じがしました。

あともう一つ、読書と新聞を読んでいますかという項目のところで、これもちょっと気が付いたことがあります。

まず読書の方で小学校と中学校、市と県の数字が出ていますが、まず県では小中ともに15.8%で全く同じパーセントの子どもたちが30分以上読書をしているということになり、小学生が中学生になってもパーセンテージが同じで全く変化していません。それに対して大月市では小学生は18%の子どもたちが1日30分くらいは本を読むけれど、中学生になるとそれが11.7%にダウンしてしまうというふうなことが起こっているのもう少し中学生の段階で読書活動を促進するようなことが必要なのではないかと思いました。

新聞に関しては、大月市の小学校の子どもたちは県の平均よりも6%以上も多い約20%、5人に1人くらいが新聞を読んでいるというふうに答えています。それが中学生になると5.4%にまで激減してしまっています。県の方が少しはダウンするのですが、それでもまだ9.3%、1割くらいの子供たちがまあなんとか新聞を読んでいるということなので、この小学校から中学校にかけて、新聞を読む子の数が激減してしまうところをなんとかしなければいけないのではないかなというふうに思いました。

これは中学校の授業の中で新聞記事を活用することを促すことによって、まず日常的に授業をとおして、少なくとも新聞記事を読むという習慣を身につけさせることが重要ではないかなと思いました。そうすることによって、様々な社会問題とか社会的なトピックというものに目を向けさせることになるし、先程の英語の弱点克服につながります。社会的問題について意見を述べるできないというのはやはりもともとそういうことに関心がない、知らないということで答えられない、自分の意見を述べられないということだと思うので、そういった英語の弱点を克服することにもつながっていくと思いますし、国語とかその他すべての教科の基礎となる読解力というものの向上につながるのではないかというふうに思いました。

それで、11月の学校訪問の時に、各学校の図書館にどんな新聞が入っているのか、また、そういった新聞を授業の中にどのくらい取り入れていらっしゃるのか、学校図書館の一般的な普通の読書推進活動というものを含めて、各小中学校の様子をお聞きしたいなというふうに思っているのもう一つ、それをプログラムの中に入れていただくと有難いと思います。

宇野教育長

英語の一連のお話については、中学校の学校訪問で直接していただけたら有難いです。よろしくお願いいたします。

白須委員

わかりました。

【原案どおり決定】

5 その他

(1) 令和6年度大月市二十歳の成人式について

〔説明〕柴田社会教育担当

令和6年二十歳の成人式ですが、令和6年1月7日(日)午前10時から大月市民会館大ホールにおいて開催します。

また、平成20年の成人式よりこれまでの行政主体による成人式ではなく、成人式実行委員会が主体となり、自ら企画運営等を行っております。現在、実行委員15名により3回の会議を重ね式典の内容を検討しており、式典につきましては2部構成で実施し、1部では記念式典、2部では成人式実行委員会が企画したスライドや抽選会を行う予定となっております。

教育委員の皆様には、12月になりましたら、ご案内をさせていただきますので、ご出席をお願いいたします。

【了知】

(2) 大月市教育委員会学校訪問について

〔説明〕藤本学校づくり担当リーダー

秋の学校訪問について資料を見ながら説明させていただきます。

まず、訪問日程ですが、前回の教育委員会で11月下旬のご都合を確認させていただき、その後、学校と調整した結果、日程表のとおり11月13日(月)、16日(木)、30日(木)の3日間となりました。また、13日(月)については、午後3時30分から教育委員会を開催したいと考えております。

なお、今回はすべての委員に揃って出席いただける日程での調整が難しく、一部、都合のつかない日での日程となってしまいましたが、ご理解をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

次に、訪問する場所についてですが、社会教育施設については、富浜公民館と市立図書館を訪問します。

また、訪問の内容についてですが、今回の学校教職員との懇談については2枚目の資料にありますように、主な内容として「学校経営の状況について」、「ふるさと教育について」、「ICT教育・ICT機器活用の現状について」、「コミュニティスクールへの対応状況について(小学校のみ)」を考えております。市立図書館についても資料のとおりとなります。

最後に集合時間ですが、13日(月)は9時40分、16日(木)は8時40分、30日(木)は8時50分で教育委員会に集合とさせていただきますので、よろし

くお願いいたします。

宇野教育長

日程については、これでお願ひしたいと思ひます。

懇談の内容については、事務局の方で4点、集中的に見せてもらいたいというポイントを押さえましたけれど、先程、白須委員の方から図書館での新聞の配置状況、授業での新聞の活用状況や読書推進活動等を聞きたいというご意見がでましたが、そのことについて委員の皆様の方がよろしければ入れたいと思ひますが、いかがでしょうか。

【他の委員の同意が得られたため、懇談内容の追加及び学校図書館への見学を追加】

(3) 北都留地区教育委員会連合会秋季研修会について

〔説明〕 藤本学校づくり担当リーダー

資料をご覧ください。以前にもお伝えしましたが、令和5年度北都留地区教育委員会連合会秋季研修会については、11月9日(木)午後2時から丹波山村役場の2階大会議室にて開催されます。

参加者については、以前確認させていただきましたが、変更はありませんでしょうか。

なお、当日は、12時に市役所に集合していただくようお願いいたします。

【了知】

- ・ 11月13日(月)午後3時30分から、令和5年度第9回教育委員会定例会を開催することを確認。

6 閉会

【教育長閉会宣言】